

V.G 槻輪だより

会報 第80号
発行日 平成23年5月31日
発行・編集 V・G 槻輪
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

“いましろ大王の杜” わがまち紹介

郡家新町

これらの遺跡、埋葬文化財の発掘調査、保存等を行う「高槻市立埋蔵文化財調査センター」が南平台上に有りますが展示公開をする場所がなく、今回出来た「今城塚 古代歴史館」で展示公開される意義は大きい。

高槻市営バス乗り場①南平台經由奈佐原行き 下車バス停 今城塚古墳前 天候 快晴

訪問先 今城塚古代歴史館 史跡今城塚古墳

1) 高槻市 学芸員 今西氏より今城塚古代歴史館、史跡今城塚古墳の概要の説明をして頂きました。

2) 高槻市文化財スタッフの会 佐伯氏には、今城塚古代歴史館の展示品の詳細な説明と史跡今城塚古墳の埴輪祭祀場まで行って説明をして頂きました。

有り難う御座いました。
今城塚の古墳公園と古代歴史館の一角が「いましろ大王(だいろお)の杜」として、二〇二一年四月一日にオープンしました。
高槻市は、北部丘陵地帯に点在する数々の三島古墳群があります。



「今城塚 古代歴史館」で展示公開される意義は大きい。



史跡 今城塚古墳は、三島平野のほぼ中央に位置し、淀川流域では最大級の前方後円墳です。

二重の濠がめぐり、総長約350m・総幅約340mをはかり、日本最大の家形埴輪や精緻な武人埴輪が発見され

成13・14年度の調査で北側内堤からみつかった埴輪祭祀区(はにわさ)は、大王陵での埴輪祭祀の実態を示すものとして大きな注目を集めています。

今城塚古墳は、すべて人の力で、濠を掘り、土を積み上げて墳丘を形づくり、遠くから運んできた石で表面をおおい、ハニワを立て並べた「造り山」で、後円部、墳丘の中心部には埋葬施設が設けられています。



四季彩 長岡天神の霧島躰

6月度行事予定
“弥生から江戸時代までの散策：天神町めぐり”
月 日：2011年6月16日(木曜日)
集合場所：JR高槻駅北口 13:00
集合順路：JR高槻駅→昼神神社塚古墳→廣智寺→天神山図書館→三好義興墓→霊松寺→JR高槻駅
その他：1) 一般の方の参加も歓迎です。
2) 「文化財スタッフの会」の方に説明をお願いしています。
3) 天神山図書館では館の方に説明をお願いしています。

つくられてから一五〇〇年近くを経た現在、風雨にさらされ、周濠の波打ち際は浸食がすすんでいます。平成9年からの発掘調査により、文禄5(一五九六)年の伏見地震による地滑りで、墳丘の貴重なる盛土の多くが内濠へ滑落したことが判明しました。

7月度行事予定
“森の中の福祉の学園「聖ヨハネ学園」”：宮之川原
月 日：2011年7月21日(木曜日)
集合場所：JR高槻駅北口バスのりば ①13:05 上の口行き 服部下車 現地集合・高槻市営バス 府道6号 服部バス停 13:15
訪問先：聖ヨハネ学園
その他：1) 一般の方の参加も歓迎です。
2) 名札を持参下さい。
3) 園の方に案内と説明をお願いしています。

結果を基に、ジオラマや映像を用いて古墳の築造工程や歴史背景を解説しています。特に日本最大の家形埴輪を含む本物の埴輪群や3基の復元石棺が展示されています。

この展示石棺には、「今城塚古墳出土石棺の復元体験事業」や千人で引く大王の石棺」等のイベントに多くの方が参加されたと思います。「いましろ大王の杜」は、今城塚 古代歴史館では三島古墳群の発掘調査で判明したことがわかりやすく展示され、史跡今城塚古墳の中にはどこどこに説明版があり、市民が家族連れで楽しめる「二大古代の文化ゾーン」です。S・O